

◆「LRRI メルマガ」 令和 7 年（2025 年）4 月号◆

★LRRI 会員が博士号を取得されました

個人会員・本多顕治郎さま（㈱エーバイシー）が茨城大学から博士（工学）を授与されました。概要は下記の通りです。

- ・博士論文タイトル：破碎貝殻を用いた柱状ドレーンの社会実装に向けた模型実験と数値解析による間隙水圧消散効果および粒子浮上に関する研究
- ・博士号取得年月日：令和 7 年 3 月 25 日

★FS 工法に関する共同研究が終了しました

令和 4 年度から開始しました「軽量地盤材料を用いた耐震補強工法の性能評価に関する研究」（茨城大学、㈱JSP、東亜建設工業㈱、（一社）LRRI の共同）が令和 7 年 3 月 19 日をもって終了しました。近日中に皆様にご披露する機会を持ちたいと思っています。ご期待ください。

★「役員＆会員だより」令和 7 年 4 月号をお届けしました

本号は、賛助会員・山中一隆さま（岡三リビック㈱）と安原一哉代表理事に執筆いただきました。タイトルは下記の通りです。

- ・山中一隆著 技術士合格体験記：令和 6 年度 技術士第二次試験 建設部門(土質及び基礎)に合格して
 - ・安原一哉著 「花よりも 花を咲かせる 土になれ」：著作権をめぐる
- 両編は HP にも掲載していますので、ご一読ください。なお、引き続き会員の皆様のご投稿をお待ちしております。ご希望の方は、事務局（staff@lrri.or.jp）までお気軽にご一報ください。

★令和 7 年 3 月：オンラインフォーラム「利他を巡って：利他の土木」を終了しました

29 名の方々のご参加を得て、成功裏に終了いたしました。ご協力に感謝いたします。なお、フォーラムで使用しました資料とアンケート結果をホームページにアップしております。

★令和 6 年度下半期(から令和 7 年度上半期へ向けて)の行事予定です

- ・令和 7 年 5 月 14 日 & 21 日：「第 5 回技術者講座」（（一財）土木研究センター様との共同開催）
（【参考資料 1】を参照ください。HP にもアップしております。）
- ・令和 7 年 7 月 16 日：5 周年講演会（特別講演者：太田秀樹・東京工業大学名誉教授）
（【参考資料 2】を参照ください。HP にもアップしております。）
- ・令和 7 年 8 月下旬：総会＆会員交流会

★LRRI 技術情報 Vol. 3 を発行します

令和 7 年 7 月発行予定です。タイトルは以下の通りです。

- ・常田賢一著：(1) 令和6 年能登半島地震による鉛直地震動の特性－新たな脅威、鉛直地震動－，(2) 傾斜地の地盤流動特性に基づく地盤流動対策の技術的検討－壁式改良工法の適用－
- ・末次忠司著：流域治水は水害に対して救世主となるか－流域治水の概念と主要な対策－
- ・安原一哉著：LRRI における気候変動対応策に関する研究

★「土木技術資料」(令和 7 年 4 月号, Vo.69, No. 4)が届いています

(一財) 土木研究センターさまからのご案内です。以下の URL から抄録がご覧になれます。

<https://www.pwrc.or.jp/wnew2501.html#mokuji>

+ * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + * + *

【参考資料 1】「第 5 回技術者講座」ご案内

◆ご案内：

過去 4 年間の実施に引き続き，令和 7 年度におきましても（一財）土木研究センターと（一社）地域国土強靱化研究所が連携して，標記講座を開催いたします。実務に反映できることを念頭に置いておりますが，建設技術者の方々はもちろん，研究者や学生の方々につきましてもお役に立てる内容です。奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

◆趣旨：

- ・国土強靱化を必要とする地域における要請に応えることができる最新の成果を発信する。
- ・学会等が発信する内容とは異なる視点からの実務に有益な最新の情報を提供する。
- ・技術者継続教育を支援する。

◆講座名：「インフラの維持管理と強靱化のための最近の技術」

◆日程など

1. 日 時 令和 7 年 5 月 14 日（水）13:30 ～ 16:35 及び
令和 7 年 5 月 21 日（水）13:30 ～ 16:40 計 2 日間
2. 方 法 オンライン（Zoom 使用）
3. 主 催 （一財）土木研究センター (<https://www.pwrc.or.jp>)
（一社）地域国土強靱化研究所 (<https://lrri.or.jp>)
4. 共 催 （公社）地盤工学会関東支部
5. 後 援 （公社）土木学会関東支部茨城会
（一社）茨城県建設コンサルタンツ協会
6. CPD 地盤工学会または土木学会から賦与（6.0 ポイントを予定）

◆プログラムとスケジュール

★1日目【5月14日】13:30～16:35

・13:30～13:40 開会あいさつ

・13:40～14:40 トピック(1)「カーボンニュートラルにむけた動向とコンクリート分野の技術開発」

講師：（一財）土木研究センター 専務理事 渡辺 博志

＜14:40～14:50＞ 休憩

・14:50～16:20 トピック(2) インフラのリスク管理～河川管理施設を中心に～

講師：末次忠司（一社）地域国土強靱化研究所

・16:20～16:35 総括

★2日目【5月21日】13:30～16:40

・13:30～13:35 開会あいさつ

・13:35～14:35 トピック(3)「全国道路施設点検データベースの活用事例～特定土工の点検結果の傾向と事例分析～」

講師：（一財）土木研究センター 土工構造物研究部 部長 中根 淳，主幹研究員 島 馨

＜14:35～14:45＞ 休憩

・14:45～16:15 トピック(4)「インフラの劣化に起因する道路陥没を未然に防止する路面下空洞調査の技術開発」

講師：応用地質株式会社 防災・インフラ事業部 部長代理 松山明男

・16:15～16:30 総括

・16:30～16:40 閉会挨拶

◆テキスト（配布資料）：トピック(1), (2), (3), (4): PPT 資料（事前に、WEB 上で配信予定）

◆参加料（テキスト代を含む。申込時一括支払い）：

・会員：2,000 円

（ここでいう会員とは，（公社）地盤工学会会員，（公社）土木学会会員，（一社）茨城県建設コンサルタント協会会員，（一財）土木研究センター賛助会員，（一社）地域国土強靱化研究所会員を指すものとします）

・非会員：3,000 円

（＊予定参加数者数は，オンライン：100 名迄）

＜振込先＞（期限：令和 7 年 5 月 7 日（水）まで）

・銀行名：常陽銀行 大穂支店 普通 1181113

・名義人：一般財団法人土木研究センター

◆お申し込み先：（期限：令和 7 年 5 月 7 日（水）まで）

・URL からの申し込み

(一財) 土木研究センター e-mail : koushuu@pwrc.or.jp

・別紙申込用紙に記載の上, PDF 版を e-mail にてご送付願います。

◆お問い合わせ先 :

・一般財団法人 土木研究センター 技術研究所 庶務・広報部 米川、梅内

TEL : 029-864-2521 e-mail : koushuu@pwrc.or.jp または

・一般社団法人 地域国土強靱化研究所 事務局 米川恭子 e-mail: staff@lrri.or.jp

(@以下 4 文字は, 小文字で, エル(l)・アール(r)・アール(r)・アイ(i))

<別紙> 参加申し込み用紙

上記講座に参加いたしたく, 申し込みを致します。

◆ご氏名 :

◆勤務先及び所属部署名/学校名 :

(学生の場合は, 学年を記載ください)

◆勤務先〒・住所 :

(学生の場合は, ご自宅〒・住所)

◆ご所属学会 & 団体 :

(地盤工学会会員番号 :)

(土木学会会会員番号 :)

◆電話/ファックス : /

◆e-mail address :

◆CPD 証明書の希望 有 : 無 (どちらかに○をお付けください)

※有に○を付けた方は、希望する CPD を○印でお選びください。

A. 地盤工学会用 : B. 土木学会用 : C. 他団体用参加証明書

◆申し込み先 (期限 : 令和 7 年 5 月 7 日 (水) まで) :

・URL からの申し込み (一財) 土木研究センター e-mail : koushuu@pwrc.or.jp

・上記申込用紙に記載の上, PDF 版を e-mail にて送付願います。

◆参加料の払い込み日時 :

・お振込日又は予定日 令和 7 年 月 日 (お振込額 : 円)

◆申し込み先 :

・一般財団法人 土木研究センター 技術研究所 庶務・広報部 米川、梅内

TEL : 029-864-2521 e-mail : koushuu@pwrc.or.jp

【参考資料 2】設立 5 周年記念講演会ご案内

～（一社）LRRI 設立 5 周年記念講演会ご案内～

（一社）LRRI も設立して 5 年が経過しようとしています。お陰様で活動を通じて少しずつ認知が広がって参りました。社是である“先義後利をもって利他共栄を目指す”を念頭において、地域国土の強靱化など、社会貢献を一層進めて参りますので引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

設立 5 周年の記念行事の一環として別紙のような記念講演会を予定しております。ご参加いただきますようご案内いたします。

— 記 —

【日時】：令和 7 年 7 月 16 日（水） 13:30 ～ 17:00

【場所】：茨城県産業会館 1F 大会議室（オンサイトのみ，WEB 開催なし）

・所在地：〒310-0801 茨城県水戸市桜川 2 丁目 2-35 ・電話：029-227-7121

（URL（<http://www.is-kaikan.or.jp/>）をご参照ください。

【タイムスケジュール】

◆開会の挨拶：14:00-14:10 （一社）地域国土強靱化研究所

◆ご講演（14:10 - 15:40，ご講義 60 分，質疑 30 分）

●講師：太田秀樹さま（中央大学研究開発機構教授，金沢大学名誉教授，東京工業大学名誉教授）

●演題：ちゃんと調査をしてみたら、ちゃんと計算してみたら、思ってもいなかった結果が出てしまった事例

<休憩> 15:40 -15:50

◆パネルディスカッション 15:50-16:50 ～事例から学ぶ～（仮題）

<パネリスト>（敬称略）

・太田秀樹（中央大学研究開発機構）

・（行政から）未定

・（コンサルタントから）後藤政昭（㈱地盤試験所）

・（ゼネコンから）山田岳峰（鹿島建設㈱）

◆閉会の挨拶：16:50 - 17:00 （一社）地域国土強靱化研究所

【共催】

（公社）地盤工学会関東支部

【後援】

(一社) 茨城県建設コンサルタンツ協会
茨城県土木部 (依頼予定)
土木学会関東支部茨城会 (依頼予定)
(一財) 土木研究センター (依頼予定)

【参加料】

無料

【CPD ポイント】

地盤工学会から付与していただく予定

～記念講演概要～

【演題】：「チャンと調査をしてみたら、チャンと計算してみたら、思ってもいなかった結果が出てしまった事例」

【講演者】：太田秀樹先生 (中央大学研究開発機構教授, 金沢大学名誉教授, 東京工業大学名誉教授, 令和 6 年春瑞宝中綬章叙勲者)

【講演概要】：悠久の時間と強大なエネルギーを使った自然の営みを通して、神様が造ってこられた地盤。人智が透徹していない未知の世界が、地盤のなかには驚くほど多く潜んでいる。その未知の世界を、知力を傾けて人間が切り拓いてきた。世代から世代へと伝えられてきた、地盤に関する知見。これが、私たちが受け継いできた智恵であろう。その智恵のおかげで、私たちの生活は 1000 年前と較べて、はるかに快適になってきている。ありがたいことであるが、今現在の段階でも初めて気が付くことが結構ある。新たな発見である。チャンと調査をしてみたら、チャンと計算してみたら、思ってもいなかった結果が出てしまったという経験。それは長い技術者仕事のなかで、おそらく誰もが経験していることであろう。私も「えー？」と思うようなことを、何回か経験した。そのような事例の幾つかを、お話したい。ついでに人生観とか老人の健康維持についても、駄弁を弄したい。

【講演者ご略歴】：1971 年 京都大学工学部助手, 1971 年 京都大学工学部講師, 1972 年 京都大学工学部助教授, 1980 年 アジア工科大学助教授, 1984 年 金沢大学助教授, 1985 年 金沢大学教授, 1998 年 金沢大学名誉教授, 1998 年 東京工業大学大学院教授, 2004 年 地盤工学会 会長 (2006 年まで 2 年間), 2009 年 東京工業大学名誉教授, 2009 年 中央大学研究開発機構教授



2022年10月18日-29日東京開催のマスターズホッケーワールドカップで 75-79歳の日本代表チームのゴールキーパーとして出場：①1-3 負け ②1-1 対 ③0-10 大敗 ④0-2 負け ⑤2-1 勝の戦績。オーストラリア代表70-74歳に10点入れられた試合終了直後の、無念さを滲ませた GK 太田秀樹（78歳）の表情。

【参考資料 3】新刊図書案内

新刊図書案内

河川技術者・河川管理者 必読！

激甚水害に対する国土強靱化のための流域治水

－全体最適化の視点で流域治水を成功させる－

著者：末次忠司

編集・発行：（一社）地域国土強靱化研究所 安原一哉

体裁：B5 判、カラー印刷、本文 156 ページ＋技術資料 31 ページ

定価：2,000 円（税抜） ＊送料は別途、実費 販売開始：2025 年 5 月▲日

水害に対応するための流域治水について完全網羅！

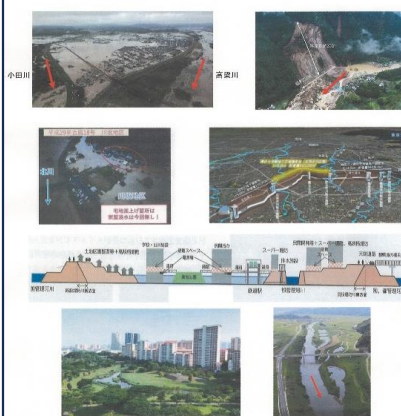
近年、激甚化している水害に対する国土交通省の重点施策が流域治水です。流域治水は地域を一つの流域と捉え、地域特性に応じた形で、ハード・ソフト対策一体で多層的に進める方策で、多くの対策メニューがあります。氾濫域を含めた対策により、今後水害が軽減されることが期待されますが、多くの機関や部署が施策に関係するため、対策の実行までに長い時間と費用がかかることが懸念されています。

実際、堤防改修や霞堤、広域避難などにおいて、施策の実施が難しい場合があります。今後更に氾濫域を含めて、流域治水を展開していくためには、こうした課題を解決するとともに、過去の成功事例に学んでいく必要があります。本書では流域治水の成功のカギは技術面、機能面から考察しています。また、総合治水の課題を踏まえて、流域治水へ向けた動き、各対策の概要はもとより、対策を成功に導いた事例を参考に、今後どう対策を適用・実施していくべきかについて解説を行いました。

また、これまで他書では取り上げられなかった「流域治水対策の実現性と経済性」に関して、対策ごとの実現可能性と経済効率性の関係について説明した他、治水と環境の両立を目指したグリーンインフラについては、章立てして事例の解説を行いました。主なものでも、流域治水は 51 事例、グリーンインフラは 8 事例を取り上げています。事例の概要や成功の秘訣が一目で分かるように、付録に表形式でまとめています。

激甚水害に対する国土強靱化のための流域治水

－全体最適化の視点で流域治水を成功させる－



一般社団法人 地域国土強靱化研究所

【お問合わせ先】

（一社）地域国土強靱化研究所（LRRI、URL：<https://lrri.or.jp/>） 安原一哉

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 4527 TEL：090-2639-5174 E-mail：staff@lrri.or.jp

＊LRRI では注文の受付は致しませんので、下記をお願いします。

＊本書に関する出前講座、講演を希望される場合は、適宜対応しますので、御連絡下さい。



【書籍購入の注文方法】

注文、支払いは下記をお願い致します。注文受付後、下記より配送致します。

東京官書普及(株) 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-2 TEL：03-3292-3701

URL：<http://www.tokyo-kansho.co.jp> 土木関係専門書籍販売サイト シビル Books

地域国土強靱化研究所書籍販売サイト[東京官書普及(株)] (tokyo-kansho.co.jp)

QR コード

＊購入の注文を FAX でされる場合は、裏面の注文書に記入後、裏面記載の FAX 番号へ用紙を送信して下さい

目次

全10章で構成

1. 激甚化する水害被害と関係する要因

2. 総合治水のはじまり

- 2.1 総合治水の萌芽
- 2.2 総合治水の課題
- 2.3 特定都市河川浸水被害対策法の制定

3. 流域治水の経緯と変遷

- 3.1 流域治水への転換
- 3.2 流域治水へ向けた動き
- 3.3 流域治水の変遷
- 3.4 流域治水と総合治水の相違点

4. 流域治水手法と実施事例

- 4.1 流域治水手法の概要
- 4.2 各手法の対策について（特記事項）
- 4.3 進化する流域治水
- 4.4 流域治水の推進に向けた取組
- 4.5 「氾濫をできるだけ防ぐための対策」と事例
- 4.6 「被害対象を減少させるための対策」と事例
- 4.7 「被害の軽減・早期復旧・復興のための対策」と事例
- 4.8 流域治水の国際比較

全ページがカラーで、
2,000円（税抜）！

流域治水の内容と工夫・効果が
事例ごとに網羅

5. グリーンインフラ

- 5.1 グリーンインフラの経緯と考え方
- 5.2 グリーンインフラ事例
- 5.3 グリーンインフラ展開における課題

6. 流域治水手法の実現性と経済性

- 6.1 流域治水手法の実現性と経済性
- 6.2 流域治水の推進・普及に向けて

今まで取り上げられなかった「対策の
実現性と経済性の関係性」が分かる

7. 流域治水を成功させるカギ

- 7.1 全体最適化の視点
- 7.2 技術面・機能面等から見て
- 7.3 他領域との連携

流域治水対策の成功のカギを
技術面、機能面から見られる

8. 水害裁判に見る流域治水

9. まとめ

10. 今後の課題

著者紹介

（一社）地域国土強靱化研究所顧問・
山梨大学教授・国総研河川研究室長・
都市河川研究室長・博士（工学）・
技術士（建設部門）
専門分野：防災・減災工学、河川工学、
水理学、リスク学



FAX 番号 03-3292-1670

注文書

激甚水害に対する国土強靱化のための流域治水

注文部数

ー全体最適化の視点で流域治水を成功させるー 定価 2,200円（税込）

部

お名前

（法人の場合は所属とご担当者名）

法人名

ご送付先 〒

お電話